

水高図書館だより







SDGsについて知ろう

SDGs(持続可能な開発目標)に関する本が近年多く出版されています。近年、購入した本を紹介します

令和3年9月6日(月)9月号【No.6】

山形県立加茂水産高等学校図書館

※紹介文はインターネット等を一部引用しています

 <p>バウンド 技術評論社</p> <p>そもそも SDGsとは何か？をイラストを交え解説。既にSDGsを導入し成功している企業事例をあげながら、ビジネスとして結びつける取り組みを紹介しています</p>	 <p>シャンタル・プーハモン NHK 出版</p> <p>プラスチックゴミ問題は環境に関わるだけでなく、私たちの健康にも害を及ぼしている。身近なことから始められるプラスチックフリー入門ガイド</p>	 <p>石井光太 文藝春秋</p> <p>格差の固定化、少年犯罪、薬物依存、世界各地の少年兵…すべての「繋がり」と貧困問題の「構造」を解き明かし、解決へ向けた未来へのヒント</p>	 <p>ナディア・ムラド 東洋館出版社</p> <p>この本に書かれていることはほんの数年前に起こった出来事です。国や宗教が違っていても女性が平和に暮らせる世界にするために、世界で起きている“今”を知ろう</p>
---	---	---	---

『WE HAVE A DREAM 201 カ国 202 人の夢×SDGs』

一冊の本に 201 もの国と地域の人が著者として参加したのは、書籍の歴史上初とされています。「夢」と「目標」の違いとは何でしょうか？ 山登りで言えば、「目標」は山頂に立てる旗、「夢」は山頂で見たい光景だと、考えます。世界規模にすれば、幸福で平和な世界という夢を実現するための、人類の目標として SDGs があることが分かります。各国・地域の代表者たちは、SDGs への取り組みとは「何をするか」ではなく、「夢に向かってどう生きるか」だと考えています。本書を読めば SDGs に取り組むためのマインドに触れることができます。



WORLD DREAM PROJECT
いろは出版

9月 図書館開館予定表

＜開館時間は急遽変更あり＞

日	月	火	水	木	金	土
9/5 閉館	6 9:45~17:00	7 9:45~17:00	8 9:45~16:00	9 10:30~17:00	10 9:45~17:00	11 閉館
12 閉館	13 9:45~17:00	14 9:45~17:00	15 9:45~17:00	16 10:30~17:00	17 9:45~17:00	18 閉館
19 閉館	20 敬老の日 閉館	21 9:45~17:00	22 9:45~15:30	23 秋分の日 閉館	24 閉館	25 閉館
26 閉館	27 8:50~15:45	28 8:50~15:45	29 8:50~13:30	30 閉館	10/1 9:45~17:00	2 閉館

新刊紹介



『invert 城塚翡翠倒叙集』 相沢沙呼 KADOKAWA

あなたは探偵の推理を推理することができますか？ IT エンジニア、小学校教師、そして人を殺すことを厭わない犯罪界のナポレオン。すべてを見通す翡翠の目から、彼らは逃れることができるのか？



『兇人邸の殺人』 今村昌弘 東京創元社

“廃墟テーマパーク”にそびえる「兇人邸」。班目機関の研究資料を探し求めるグループとともに、深夜その奇怪な屋敷に侵入した葉村譲と剣崎比留子を待ち構えていたのは、無慈悲な首斬り殺人鬼だった



『食べものから学ぶ世界史』 平賀緑 岩波書店

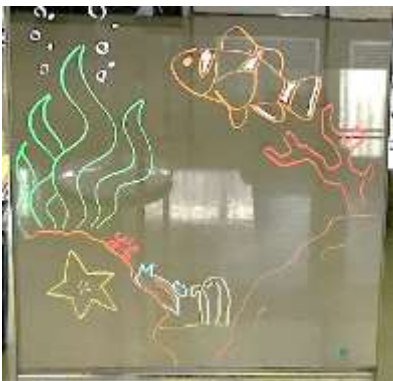
砂糖や小麦粉など身近な食べものから「資本主義」を解き明かす！ 昨晚のご飯を思い出しながら、世界経済の歴史を学ぼう

『特別報道写真集 東京オリンピック 2020』 山形新聞社

過去最多 58 個のメダルを獲得した日本代表の活躍を中心に、各種目の記録が収められています。また山形県勢の活躍や県内聖火リレーも紹介



『葉屋のひとりごと5』日向夏 主婦の友インフォス 『文豪ストレイドッグス 太宰、中也・15歳』朝霧カフカ KADOKAWA



～最近の図書館～
夏休み前から図書館の入り口に季節のイラストを描いてもらっています。8月は海の生き物、9月は十五夜です。今は3年生に描いてもらっていますが、1・2年生もやってみたい人がいれば、参加してください。10月はハロウィンを予定しています。



どくしょノート

司書のおすすめ本を紹介します。



『スモールワールズ』一穂ミチ 講談社

【あらすじ】夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。人知れず手紙を交わしつづける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。

連作なのに、登場人物の距離感が近すぎない。繋がりに気づくとはっとさせられます。6作すべて違った書き方で読み応えがあります。2作目「魔王の帰還」は、コメディかと思うような姉と弟の会話。魔王が帰ってきた理由が夫の難病だったことがわかってから、がらっと雰囲気が変わる。「奇跡は起こらない、起こらないから傍にいてやれ。最後に負けが決まっているシナリオでも、立ち足るから魔王なんだろう」という最後の弟の言葉が印象的です。